

【第40号】

平成28年12月26日

相双建設事務所

復旧復興だより



事務所イメージキャラクター

(この便りは、相双建設事務所が取り組む復旧・復興事業の進捗状況などをお伝えするものです。)

◆JR新地駅の主要アクセス道路が開通。

震災で被災したJR常磐線の相馬駅～浜吉田駅が12月10日(土)に再開通し、新たに内陸側に移設された新地駅も営業を開始しました。

これにあわせ、当事務所では、新地駅までの主要アクセス道路となる県道金山新地停車場線を整備してきたものであり、このたび、国道6号から駅までの約0.7kmを完成させ、同日、供用しました。

新しくなった県道金山新地停車場線は、国道から駅までの間をほぼ直線で結ぶとともに道路幅を拡げ、また歩道を新設することで、利便性が格段に向上しており、仙台や南相馬方面と鉄道でつながった新地町の復興がさらに進むと期待されます。

今後も引き続き、残る新地町内の道路や防災緑地の整備を着実に進め、一日も早い工事完成を目指します。

新しくなった県道金山新地停車場線(国道6号～JR新地駅)



金山新地停車場線
約0.7km



至 新地駅



至 国道6号

工事監督員の声(道路・橋梁課 山本技師)

5年9ヶ月の間、皆さんが待っていたJR常磐線の運転再開にあわせ、県道整備の工事を完成できて安心しています。

地域の方々の生活に欠かせない“新しい新地駅”へのアクセス道路を確保する事業に携わることができ、うれしく思います。



再開通したJR常磐線(新地駅)

◆南海老地区海岸(南相馬市鹿島区)の堤防工事が完成。

当事務所では、新地町から双葉町にかけて、震災の津波で被災した約21.4kmの海岸堤防を復旧しています。このうち、南相馬市鹿島区の南海老地区海岸(約1.6km)が11月末に完成しました。

数十年～百数十年の頻度で発生する津波などに対応できるよう、堤防を震災前から1m高くするとともに、コンクリートを厚くするなど、津波に対して粘り強い構造にしています。

このほかの箇所についても(残り17.7km)、一日も早く堤防工事を完成させ、災害に強く、安全で安心できる生活環境の確保に努めます。



南海老地区海岸
(約1.6km)



被災状況



堤防の復旧状況

◆県営復興公営住宅の入居を順次、開始。(南町団地、上町団地)

当事務所では、今年度、南相馬市内において、原子力災害による避難者のための県営復興公営住宅811戸を整備する予定です。

9月に相双地域で初めて、原町区の北原団地で入居を開始し、その後、鹿島区の西町団地でも入居を始めました。11月29日(火)には南町団地、12月13日(火)には上町団地でも、入居者への鍵引渡し式を行い、これまでに、あわせて751戸で入居を始めています。

いずれの団地も、バリアフリー仕様や太陽光発電による環境負荷の低減に努めるとともに、南町団地、上町団地は、伝統行事「相馬野馬追」の会場や公園に近いため、建物外壁の色彩を工夫したり、敷地外周部に緑地を配置するなど、周辺の景観や自然環境との調和にも配慮しています。

残る60戸(原町区の牛越団地)は来年3月に入居開始の予定で、引き続き着実に工事を進めます。(※相双地域の県営復興公営住宅は、来年度、さらに174戸を整備し、あわせて985戸となる予定です。)



平成28年度に整備する復興公営住宅

団地名	戸数	構造	工事進捗状況	完成時期
北原	264	鉄筋コンクリート造 3階建て	完成	H28年9月
西町(鹿島)	50	木造2階建て	完成	H28年11月～12月
南町	255	鉄筋コンクリート造 5階建て	完成	H28年11月
上町	182	鉄筋コンクリート造 3～4階建て	完成	H28年12月
牛越(辻内)	60	鉄筋コンクリート造 4階建て	約70%	H29年3月



11月29日に鍵引渡し式を行った「南町団地」



12月13日に鍵引渡し式を行った「上町団地」



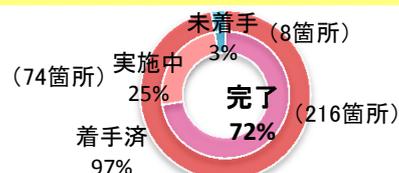
県営復興公営住宅に入居される方々の声

◇広々としていて素晴らしい、落ち着いて暮らせる。 ◇きちんとした住宅に住めるのはうれしい。

◆東日本大震災の災害復旧工事の進捗状況(平成28年11月末)

東日本大震災で被害を受けた当事務所所管の道路、河川、海岸等の災害復旧工事の進捗状況は右に示すとおりです。

(帰還困難区域で査定が未実施の箇所は含まれていません。率は事業箇所数で算出した割合です。)



○次回は、「県道北泉小高線(萱浜工区)の整備状況」をお伝えする予定です。

(事業の進捗状況等により変更する場合があります)

